

ICER NEWS LETTER

Innovation Center for Educational Resource



JMOOC「化石化のメカニズムを探る～タフォノミーへの招待～」受講生募集

「化石」とは、大昔の生物の遺骸や活動の痕跡が地層中に残されたものです。19世紀以来、古生物学者は「化石」をツールとして地質時代（＝中生代ジュラ紀など）を決め、過去の地表環境の変遷を追ってきました。しかし「化石はなぜ残るの?」という小学生の素朴な質問に対して、必ずしも十分に答えられていませんでした。この極めて初歩的な疑問に正面から取り組む分野を「タフォノミー」と言います。教材開発センターではMOOC (Massive Open Online Course) 講座第9弾として、これまであまり省みられなかった「生物の遺骸が化石として保存される理由や過程」に焦点を当てた「化石化のメカニズムを探る」をJMOOC (<https://www.jmooc.jp/>) から開講します。申し込み開始日は6月24日（金）の予定です。



本講座の講師は、総合研究博物館の前田晴良教授です。「犯罪捜査」のような手法で「化石」を調べることで、これまで気付かなかった多くの情報を引き出せることを実例をもとに紹介していただきます。本講座を通して「化石」に対するより豊かなイメージを受講生に抱いてもらえるはずです。

なお本講座の開講期間は3週間で、1週目「生物の遺骸と生態系」、2週目「リサイクルを免れた遺骸」、3週目「異常事態から観る裏生態学」の構成となっています。開講日は8月19日（金）を予定しています。MOOCは、パソコンだけでなくスマホやタブレットを使ったモバイル・ラーニングも可能です。また、1回の講義が10分程度のため、空き時間を有効に利用して学習を進められます。皆様の受講をお待ちしております。 【岡田義広センター長】



お知らせ 本センターで保有している先端ICT機材をご存知ですか？

教材開発センターでは、2013年度に「2D/3D電子教材開発システム」、2021年度に「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」をそれぞれ導入しております。これらの機材の貸し出しを行っておりますので、ご要望がございましたら本センターまでご連絡下さい。

【岡田義広センター長】

■2D/3D電子教材開発システム

デジタル顕微鏡、光学式モーションキャプチャー装置、固定式3Dスキャナー、3Dプリンター、ハイスピードカメラ、視線追尾装置

■次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム

周囲撮影用3Dスキャナー、高解像度360度VRカメラ、ポータブル360度VRカメラ、対象物撮影用3Dスキャナー、VRゴーグル

▶https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

今後機材貸し出しページも内容を更新してまいります。



連載

7

「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」のご紹介

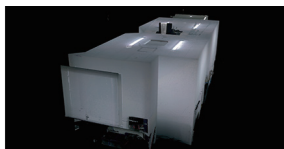
周囲撮影用3Dスキャナー

昨年度、九州大学「教育DX」推進事業～先端ICT活用による学びの質の向上～(九州大学の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」)で、教材開発センターが取り纏め調達しました機材の名称が「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」です。学内の教職員・学生の皆様に導入しました機材を教材開発等で積極にご活用いただくた

めに、本号からの連載として、それぞれの機材の活用法をご紹介します。初回は、「周囲撮影用3Dスキャナー」です。

導入しましたものは、Leica BLK360 イメージングレーザースキャナーです。詳細は、製品紹介ページ(#URL1)をご覧ください。どのようなデータが取得できるかにつきましては、以下のページ(#URL2)をご覧ください。これ

は、中央図書館3階教材開発センター内の3Dプリンター室をスキャンしたものです。実験室などをスキャンすることで、どのような実験装置でどのような実験を行うのかを学生に説明するウェブ教材の開発が可能となります。【岡田義広センター長】

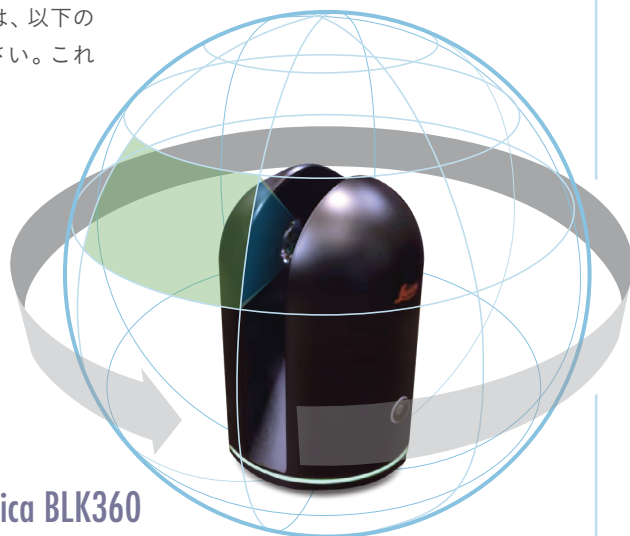


高精度360°の点群データで、周囲の3Dデータを生成するスキャナー

Leica BLK360

#URL1 <https://leica-geosystems.com/ja-jp/products/laser-scanners/scanners/blk360>

#URL2 https://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/PCDViewer/webgl_pcd.html?file=Test220601_bin.pcd



STAFF活動報告 本センタービデオ班の活動をご存知ですか？

教材開発センターでは、教材開発に係る講義・講演・講習会等のビデオ撮影・編集・公開のご依頼をお受けしております。ライブ配信も対応しております。また、撮影済み動画データをご提供いただくことで、本学公式YouTubeチャンネルへの登録もお受けしております。さらに、本センターは、データ駆動イノベーション推進本部・次世代型オープンエデュケーション推進

部門と連携し、ICT活用電子教材開発等の実働部隊としての役割も担っております。本センター保有の機材を活用した教材開発のためのデータ収集や機材貸し出し時の機材使用法講習も実施しております。これらのご要望がございましたら本センターまでご連絡下さい。

【岡田義広センター長】



お問い合わせ

✉ video@icer.kyushu-u.ac.jp ☎ (内線)90-6107

f <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>

t https://twitter.com/ICER_KyushuUniv

g <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>

✉ info@icer.kyushu-u.ac.jp

バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for Educational Resource
K Y U S H U U N I V E R S I T Y

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.